

真空脱ガス炉 SBF-H500TA



真空脱ガス炉SBF-H500TAは各種部品の真空加熱を目的とした装置です。最高加熱温度は500℃まで昇温可能です。炉体内部は5段式となっており、コンパクトな装置で大容量の脱ガスが可能です。排気系は、ターボ分子ポンプを採用しておりますのでクリーンな排気です。

操作は排気系の立ち上げ・昇温工程・排気系の立ち下げがスイッチ1つで行え、初心者の方にも簡単にオペレート出来ます。また液晶型記録計も搭載しておりますので、温度監視や圧力監視も記録することが出来ます。

真空脱ガス炉 SBF-H500TA 仕様

○到達圧力	×10 ⁻⁵ Pa台※常温・無負荷・脱ガス完了時
○最高温度	500℃
○昇温時間	450℃迄1時間以内
○均熱範囲	450℃±10℃以内・・・真空中
○炉内寸法	550mmW×550mmD×550mmH SUS304
○有効棚寸法	500mmW×500mmD×85mmH
○棚数	5段
○加熱機構	マイクロシースヒーター
○加熱制御	サイリスタ制御
	PID方式プログラム温調計×1台
	PID方式デジタル温調計×5台
○真空排気系	油回転ポンプ:333/400L/min[50Hz/60Hz]
	ターボ分子ポンプ:500L/sec
○真空計	デジタル圧力計/ピラニ真空計/電離真空計
○記録計	横河電機製DX-2000型
○操作方法	手動/自動操作可能
○ユーティリティ	電気:AC200V三相25kVA
	冷却水:12L/min以上0.1MPa以上0.15MPa以下25℃以下循環
	計装エア:0.5MPa以上
	設置寸法:1300mmW×1000mmD×1800mmH